

要請番号 (JL02717A11)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベトナム	H113 作業療法士		個別	新規	2年	・ 2017/4 ・ 2018/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

ホーチミン市人民委員会

2) 配属機関名 (日本語)

ホーチミン市リハビリテーション及び職業病治療病院

3) 任地 (ホーチミン市) JICA事務所の所在地 (ハノイ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1977年に設立された療養所を前身とし2015年に現在の名称に変更された。総合内科、脳神経科、脊髄損傷科、職業病治療科、リハビリテーション科等14の診療科と総務室等の7つの管理室で構成される。病床数は400床、入院患者延日数15万日、外来患者延日数17万日。医師50名、準医師10名、看護師150名、技師50名を含め総職員数約360名が所属する。南部トップレベルのリハビリテーション専門病院であるため、南部メコンデルタ地域にある病院やホーチミン市内の総合病院を訓練する役割も持つ。NGO支援により2007年まで脊髄損傷科、2016-2020年まで脳神経科にベルギー人専門家が派遣されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ベトナムでは医療技術の発展に伴いリハビリテーションの重要性が認識されてきており、作業療法への関心が高まっている。同病院の脊髄損傷科や脳神経科では、これまでベルギー人医師が支援を行ってきたが、JVが配属されるリハビリテーション科への支援はない。同科には医師3名、技師30名が所属し、うち半数の技師は、準医師から半年程度の実習を経て技師となっておりリハビリテーションの専門知識は乏しい。1日あたり入院患者約280名と外来患者約160名が、主にマッサージや関節可動域練習、器具を使用した運動療法等、1日平均2種類の治療を受けている。施設的环境整備はされているものの、スタッフの知識や技術は不足している現状であり、現在は治療の一つとして簡単な上肢の練習を行っている。

今後、作業療法チームの立ち上げを目指しており、技師達と同じ目線で患者を診ながらリハビリの技術を伝えられるJVの協力が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先スタッフの一員として以下の活動を実施し、作業療法に重点を置きながらリハビリテーション全般の質の向上に協力する。

- 主に脳卒中患者に対して、同僚と共に作業療法(ADL訓練やアクティビティ含む)を実施する。
- 技師4名に作業療法の指導を行いながら作業療法チーム立ち上げを支援する。
- 科内で勉強会や症例検討会を企画し、同僚の作業療法についての知識・技術の向上を図る。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ADL訓練室(キッチン、トイレ、洗面所、浴槽)、砂場、滑車運動器、平行棒、自転車、昇降台、車椅子、バランスボール、低床ベッド、杖、作業療法机、積木、ペグボード、マット、三角マット、ボール、輪投げ、箸等

4) 配属先同僚及び活動対象者

リハ科長(男性/60代/医師/経験30年)
技師長(女性/40代/技師/大卒/経験17年)
作業療法チーム同僚4名(女性3名・男性1名/20-30代/技師/専門卒/理学療法経験2-14年)
対象患者:脳血管障害等の高齢者

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ベトナム語	ベトナム語	

【資格条件等】

[免許]：（作業療法士）	[学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）5年以上 備考：支援・助言を期待するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（20～35℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】

住居は院内の宿舎が提供される予定である。